

平成 29 年 3 月 1 日

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション

厚岸臨海実験所・室蘭臨海実験所教育関係共同利用公募要領

(平成 29 年度)

厚岸臨海実験所・室蘭臨海実験所は、親潮の影響を直接に受け、わが国で最も水温が低い海域にあるという地理的な利点を生かして、これまで、寒流域における海洋生物学、海洋生態系に関するさまざまな教育研究を行ってきました。平成 24 年 7 月には、文部科学省の教育関係共同利用拠点（「寒流域における海洋生物・生態系の統合的教育共同利用拠点」）として認定され、2つの臨海実験所を教育施設とし、所属教員が連携・共同して、海洋生物学、生態学の教育に取り組んできました。平成 29 年 4 月からは、第 2 期教育関係共同利用拠点「寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠点」に新たに認定され、引き続き、全国の国公立および私立大学・短期大学・高等専門学校を対象とした共同利用実習等の運営にあたります。本公募は、全国および海外の大学、およびその所属学生に対して、両施設を利用した統合的・学際的な教育カリキュラムを実施・受講する機会を提供し、寒流域の海洋生物学・生態学分野の教育進展および人材の育成に寄与することを目的としています。

1) 公募区分

本教育拠点では、下記の 3 区分の公募を行う予定です。今回は、A と B について公募を行います。

A：共同利用実習（教員対象）

全国の大学の研究者（研究室・学科・学部）を対象として、厚岸・室蘭両臨海実験所の施設を利用した各種実習（セミナー・巡検等を含む）の実施を募集します。各大学（学部・学科・研究室）のニーズを踏まえて、厚岸・室蘭臨海実験所の設備等の資源を有効に利用して実習を実施するための便宜を図ります。

B：共同利用研究（学生対象）

厚岸・室蘭臨海実験所に滞在して、各自の研究課題（卒業研究や修士論文・博士論文等）を実施する全国の学部学生および大学院生の利用を募集します。滞在する学生の施設利用および指導に関しては、各大学における指導教員と臨海実験所の担当教員が密接に連絡を取り合い、学生の課題の遂行に必要なアドバイスを適宜行うと共に、

野外調査や生物の採集・飼育についての支援を行います。

C：公開臨海実習（学生対象）

厚岸および室蘭臨海実験所でこれまで行われてきた他大学の学部学生・大学院生対象の公開臨海実習を、学生の習熟度および関心分野に応じて下記の6科目に再編して実施します。実際の募集は2017年4月以降を予定しています。

- ・国際公開臨海実習Ⅰ（厚岸）
- ・国際公開臨海実習Ⅱ（室蘭）
- ・海洋生態学（厚岸）
- ・北海道東部の水域生態系（厚岸）
- ・海藻類の分類・発生・細胞生物学（室蘭）
- ・早春の北海道南部での海藻採集と培養技術の習得（室蘭）

2) 応募資格

共同利用実習：国内外の大学及び国公立研究機関の研究者またはこれに準ずる研究者（非常勤研究員、博士研究員等を含む）

共同利用研究：国内外の大学生・大学院生（指導教員の承認が必要です）

3) 所要経費等

本共同利用につきましては、旅費や滞在費の支給は行いません。

なお、公共交通機関の最寄駅からの送迎等のサポートを行います。

4) 申し込み方法

共同利用実習、共同利用研究ともに、あらかじめ当教育拠点関連分野の教員（別紙参照）と協議のうえ、所定の申込書を提出して下さい。なお、当センターで使用可能な機器（主要なものを別紙に掲載）に関する問い合わせは、関連分野の教員にして下さい。なお、共同利用研究の申請を学生自身が行う際は、指導教員の承認をあらかじめ得て下さい。申し込みは随時受け付けますが、利用期間については、関連分野教員に連絡の上、ご検討ください。

5) 申込書送付方法および送付先

A) 電子メールでの申請の場合

申請書に記入の上、下記電子メールアドレスまでお送りください。

nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp（厚岸臨海実験所・仲岡宛）又は

nagasato@fsc.hokudai.ac.jp（室蘭臨海実験所・長里宛）

メール件名は、「H28厚岸・室蘭共同利用申込」としてください。なお、「共同利用研究」に学生本人が申し込む場合は、必ずcc:で指導教官にも電子メールを

同時に送信してください。

B) 郵送の場合

申し込みされる下記施設にご送付ください。なお、封筒の表に厚岸・室蘭共同利
用申込書在中と朱書きして下さい。

〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
厚岸臨海実験所
TEL：(0153) 52-2056、FAX：(0153) 52-2042

〒051-0013 北海道室蘭市舟見町1丁目133番地31
北海道大学北方生物圏フィールド科学センター
室蘭臨海実験所
TEL：(0143) 22-2846、FAX：(0143) 22-4135

6) 申込者採否

利用採否等は、当教育拠点共同利用協議会で審査し、センター長が決定します。

7) 報告の提出等

共同利用実習、共同利用研究に採択された方は、その年度の末日までに所定の報告書を下記施設宛に提出して下さい。報告された内容は、当センターの年報に掲載する予定です。

akkeshi@fsc.hokudai.ac.jp (厚岸臨海実験所宛) 又は
muro-jim@fsc.hokudai.ac.jp (室蘭臨海実験所宛)

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション
厚岸臨海実験所・室蘭臨海実験所教育関係共同利用担当教員

<厚岸臨海実験所>

仲岡雅裕・教授

専門分野：海洋生態学、群集生態学、生物多様性生態学

伊佐田智規・助教

専門分野：生物海洋学、プランクトン生態学、衛星生態学

頼末武史・特任助教

専門分野：幼生生物学、分子生態学

<室蘭臨海実験所>

本村泰三・室蘭臨海実験所・教授

専門分野：藻類学、細胞生物学、発生学

長里千香子・室蘭臨海実験所・准教授

専門分野：藻類学、形態学、細胞生物学

教育関係共同利用に供する主要な施設、設備及び資料

<厚岸臨海実験所>

施設

本館 (829m²)：生態学実験室、化学実験室、機器分析室、飼育実験室等。

外来研究室・実習宿泊棟 (797m²)：外来研究室 2、大実習室(23 名)、小実習室(30 名)、食堂、厨房、宿泊室 (8 人用ベット室 4、和室 2、洋室 1) (40 名収容)、ホール、浴場等。

設備

実習船みさご丸(2010 年新造船、9.7 トン、ディーゼル 540 kw、定員 30 名、GPS、魚探、レーダー、無線機搭載)、和船うみあいさ(1.6 トン、定員 11 名)、和船えとぴりか(0.5 トン、定員 5 名)、実習用正立顕微鏡、実習用実体顕微鏡、溶存酸素計、水中光量子計。

<室蘭臨海実験所>

施設

実験・研究棟 (512m²)：学生実験室、実験室 1, 2、P1 実験室、オープンスペース、

培養実験準備室等。

多目的研修棟 (258m²) : 学生控室 (8人用ベット室) 2、多目的スペース 2、補食談話室 1、ホール、トイレ 2、シャワー室 2、洗面室等。

設備

日長・温度可変式培養室 2 室、小型藻類培養庫 6 台、クリーンベンチ、透過型電子顕微鏡、冷凍遠心機 4 台、落射蛍光顕微鏡 3 台、PCR 装置等。